

政 策 デ ザ イ ン 学 科

開 設 記 念 講 演 会

6月22日 木

13:30～15:10

一般公開

入場無料

申込不要

東北学院大学 土樋キャンパス

ホーイ記念館（地下）

多目的ホール

～ボルネオの熱帯雨林と私たちの暮らし～

講師

中西 宣夫さん

NPO法人ボルネオ保全トラスト・理事
／サラヤ株式会社・調査員



ボルネオ島は、東南アジアの島でインドネシア・マレーシア・ブルネイの3国の領土からなっています。熱帯気候に属し生物多様性のホットスポットです。しかし、ボルネオ島の熱帯雨林はこの50年ほどで急速に減少しています。その大きな原因の一つはアブラヤシ農園の開発です。

アブラヤシの実から採れる油（パーム油）は日本にも輸出され、私たちの生活に欠かせない必需品の原料となっています。2020年の統計では日本は年間約76万トンのパーム油を輸入しています。日本に入ってくるのはほぼすべてマレーシアとインドネシアで生産されたパーム油です。

2004年、あるできごとをきっかけにサラヤ株式会社はそのアブラヤシ生産の現場で起こっている様々な問題に気づかされました。そして、それを契機にボルネオ島で、生物多様性保全事業を立ち上げました。現在は現地小規模農家の支援も開始し、非木材林産物を使った製品の開発にも取り組んでいます。

今回はサラヤがボルネオ島にかかわるようになった経緯、現地の状況、これまでの活動や今後の展望について野生生物の写真、視察ツアーの様子などもご紹介しながらお話しします。

〈主催〉東北学院大学 地域総合学部 政策デザイン学科

〈後援〉宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社



東北学院大学